

埼玉医科大学国際医療センター  
院内学級 案内

～入院しながら学べます～

日高市立高麗川小学校分教場

日高市立高麗川中学校分教場

Q. 勉強は、病気が治ってからもよいのでは？

入院すると、家族や学校という社会生活から離れ、どうしても単調な生活になりがちになります。また、勉強が遅れるという不安やクラスからの疎外感や孤立感を感じることも少なくありません。

それぞれの体調に応じて勉強を続けることで、小学生・中学生としての自尊心を持ち続けることができると同時に、生活にリズムや変化を与え、心身ともに健康回復を促すことができます。

また、GIGAスクール構想による1人1台端末を児童生徒に貸与し、今後、オンライン学習なども計画していきます。

Q. 院内学級は、どんな学級ですか？

埼玉医科大学国際医療センターに入院している小学生・中学生に学習の保障をするために開設した学級です。

埼玉医科大学国際医療センター内にある学級は小・中学校の分教場として開設されています。小学校は平成22年4月に開設し、中学校は令和3年4月に開設の学級です。

この学級では、一人一人の健康状態や学習進度に合わせ、退院後の復学になるべく支障がないよう、個々に応じた指導をしていきます。また、学級担任・医師・看護師等として、毎日の病状の変化や健康状態に配慮した時間と方法で学習します。なお、その日の体調によっては、ベッドサイドに院内学級の担任が出向いて指導する場合があります。

## Q. 院内学級に入級するには？

埼玉医科大学国際医療センターに入院している小・中学生であれば、誰でも入級できます。ただし、1か月以上の入院が原則となります。また、1か月未満の入院の場合は体験学習もありますので、お声かけください。

入級を希望される方は小学校の場合、日高市立高麗川小学校へ転校の手続きが必要になります。中学校の場合は日高市立高麗川中学校へ転校の手続きが必要になります。

手続きは日高市教育委員会と学校で行いますので、保護者の方が日高市役所や学校に向かれる必要はありません。埼玉医科大学国際医療センターの医師に入級の希望を伝えてください。

退院とともに、住所地（前在籍校）の学校へ学籍を戻します。

## Q. 教科書や教材等の費用は？

市外の方で使用していた教科書が日高市と違う場合は日高市で使っているものを追加して無償で支給します。

ノートやドリル等は入級前の学校で使用していたものを使います。補助教材として個人で使うものについては保護者に費用を負担していただきます。

## Q. 院内学級の生活、服装は？

服装は、健康状態に合った着やすい服装でもかまいませんし、入級前の学校の制服でもかまいません。高麗川中学校の制服である必要はありません。

院内学級での生活は、健康状態を十分考慮して、楽しい毎日となるよう学習内容を工夫していきます。

☆詳しいことは下記へお問い合わせください。

※お問い合わせ時間・・・8：30～17：00 ※土日祝日除く

日高市立高麗川小学校	日高市大字南平沢 335	TEL042-989-0275
日高市立高麗川中学校	日高市大字原宿 49	TEL042-989-1158
日高市教育委員会学校教育課	日高市大字南平沢 1020	TEL042-989-2111 (学務担当・内線5525)
日高市立教育センター	日高市大字鹿山 370-20	TEL042-985-5123
埼玉医科大学国際医療センター「患者支援センター医療福祉相談室」	日高市大字山根 1397-1	TEL042-984-4106
	小学校院内学級直通	TEL042-984-0604
	中学校院内学級直通	今後開設予定